



雲南市議会議員 梶谷よしひら よしひら通信

17号

令和7年1月

令和6年12月議会 一般質問

問1

市民の生命・財産を守る体制について

避難誘導体制は万全か

回答 石飛厚志 市長

防災対応等に万全という概念は無い。常に原子力防災訓練による確認、課題の抽出等により避難計画の実効性を高めることが重要。UPZ圏内(原発から30km圏内)の雲南市は、①屋内退避、②状況に応じて一時移転を行う。その際の避難ルート上にある信号機の停止や調整及びポイントごとの誘導は、「自衛隊・警察や消防など」の実動組織に担っていただくこととなっている。

回答 景山修二 防災部長

避難計画では、高齢者あるいは障がい者などの避難行動要支援者または同居者並びに屋内退避や避難に協力していただく支援者に対して、雲南市では防災無線・テレビ・ラジオ等の各種媒体を通じて情報提供を行い、在宅の避難行動要支援者の屋内退避、一時移転等を行うこととしている。なお、御自身で移動が困難な方は、実動組織に協力要請する。学校の児童生徒は、警戒事態・施設敷地緊急事態の段階で保護者への引渡しを開始する。引渡しができず一時移転となった場合、連絡網で避難先等を保護者に通知し引き渡す。

冬場の避難路確保…道路のきめ細かい除雪について

回答 石飛厚志 市長

原子力災害時は、状況に応じて一時移転を行うこともある。その際、御自身で移動が困難な方は、自衛隊、警察や消防などの実動部隊の支援を受けることになる。併せて、避難経路の確保等にも支障が生じる場合は、同様に実動組織への支援を要請することとなる。

回答 景山修二 防災部長

雲南市は、国の原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金が交付される。そのうち再稼働の交付金が約5000万円あり、令和6年度から7年度にかけて市道の舗装修繕等を行う予定。また、安全確保交付金、約7500万円は、令和7年度から8年度にかけて市道における除雪車の回転場の整備及び除雪機械2台の導入を予定している。

高齢者・障がい者の避難支援について

回答 石飛厚志 市長

避難行動要支援者名簿において全ての方を把握できているとは言えない。原子力災害時、支援者の協力によっても避難が困難な場合、実動組織の支援を求めている。また、病院の入院患者や施設の入所者は、県がその方に応じた避難の手段と支援が提供されることになっている。

問2

移動手段を持たない方の移動支援について

だんだんタクシーで隣町に行くことについて

回答 板持周治 政策企画部長

既存のタクシー事業者の4事業エリア(大東、加茂、掛合、吉田)と木次・三刀屋の1エリアの合計5エリアで、エリア内の移動手段としてタクシー事業者との協議により「だんだんタクシー事業等」を行っている。町を越える広域利用については、市民から御要望等も伺っている。「だんだんタクシー」の運行には、タクシー事業者の御理解も必要であり、令和7年度からの雲南市地域公共交通計画の見直しに合わせ、タクシー事業者との話し合いを重ねながら模索したい。

市民バスをスクールバスとしての活用について

回答 小田川徹哉 教育長

雲南市では、学校までの距離等一定の条件を満たした場合、通学乗車券を交付して市民バスを利用している。ただし、学校に近い区域の児童には徒歩での集団登校を指導している。しかし、子供たちが安全・安心に登下校できる環境を確保することは大切であり、今後も登下校時の危険回避や配慮が必要な場合、市民バスの利用について柔軟に対応していきたい。

問3

有害鳥獣対策支援について

集落・耕作地全体を電気柵やワイヤメッシュで囲む支援について

回答 田部公利 農林振興部長

有害鳥獣対策が講じられていない地域では被害が減少・変わらないう状況。一方、対策をしていない地域では増加していると思われる。集落全体を囲むような施策として、国が行っている「鳥獣被害防止総合支援事業」があり、令和6年度は6集落が取り組んでいる。これは貸与事業であり要件の中には、制限等々もあるが比較的大規模に周りを取り囲むことができる制度であり、今後も活用を進めたい。

議会を終えて

12月議会では、原子力災害が発生した場合を想定し、雲南市の防災対応について質問しました。

今回の質問から見えてきたことは、自力で避難行動できる方はいいですが、自力で避難できない「避難行動要支援者や病院の入院患者、施設の入所者」は、緊急避難を要する災害時、外部組織である実動組織(自衛隊・警察や消防など)の避難支援を受けることとなるそうです。果たして外部組織が迅速な対応が可能か不安です。なぜなら、災害が発生した場合、被害は雲南市だけではない可能性がありますからです。

<https://kajitani.site>

梶谷よしひら後援会事務所
発行責任者 梶谷佳平

〒699-1113 雲南市加茂町東谷 1313
電話・FAX 0854-49-6399



12月議会所感

梶谷よしひら

日本は、世界屈指の地震国であり、南海トラフ巨大地震が発生すれば太平洋側だけではなく日本海側も激甚災害が予想されます。2011年3月11日東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故による大規模な放射能汚染を忘れてはいけません。そして、2024年12月7日島根原子力発電所2号機が再稼働し、2025年1月からは営業運転を開始。そこで12月議会の一般質問では、各種災害に備える市の体制などを伺いました。

市民が安心して暮らせるためにも、雲南市には防災体制の強靱化を図っていただきたいと思います。

新規予算

1. 大東高校等学校特別支援事業

12月補正額 418万円/補正後額 418万円（財源：政策選択基金繰入金 418万円）

大東高等学校における緊急且つ特別支援策として、市の定住促進住宅の空き物件を寄宿舎に改装し、遠方からの生徒受入環境の拡充を図る。

2. 中学校教師用指導書・準拠教材整備事業

12月補正額 1,781万円/補正後額 1781万円（財源：一般財源 1,781万円）

中学校で使用する教科書改訂に伴い、令和7年度、教師用の教科書・指導書等を整備(購入)する。

拡充予算

1. 地域総合整備資金貸付事業

12月補正額 11億4,000万円/補正後額 12億円（財源：地方債 11億4,000万円）

地域総合整備資金貸付事業(ふるさと融資：長期の無利子)により、地域振興に資する民間投資(コトリエット内のホテル建設(5階建、94室))を支援する。

2. 日本一さくらのまちづくり事業交付金

12月補正額 394万円/補正後額 698万円（財源：地域振興基金繰入金 394万円）

「2025桜まつり」に係る令和7年3月末までの実施に必要な経費を計上する。

3. 公園施設整備事業

12月補正額 6,573万円/補正後額 1億3,873万円（財源：国県支出金△1,325万円、地方債 7,500万円、一般財源 398万円）

公園施設長寿命化計画に基づき計画的に公園施設の改修・更新を行う。

- ① 加茂中央公園野球場の改修：本部席地盤調査の追加・スコアボード詳細設計の実施・本部席地盤改良工事の追加
- ② 都市公園危険施設の解体撤去：木次運動公園野球場照明塔・木次公園複合遊具・トイレ棟・プレハブ倉庫・ステージ

4. 生活基盤施設耐震化等交付金事業

12月補正額 3,300万円/補正後額 3,300万円（財源：国県支出金 1,100万円/企業債 1,660万円/出資金 540万円）

水道施設で、布設後40年以上経過した耐震性の低い基幹管路の耐震化工事を実施する。水道事業では、基幹管路の耐震適合率を2028年度末までに60%以上に引き上げる目標を掲げている。

5. 雲南市観光協会補助金

12月補正額 374万円/補正後額 5,073万円（財源：一般財源 374万円）

雲南市第3次総合計画では、「みんなのたからを誇るまち」の重点プロジェクトとして「市と観光協会が一体となった新たな推進体制の確立」を掲げており、観光協会の連携強化・組織の一元化に向け、事務所整備等を進める。

6. バス運行対策費補助金

12月補正額 1,033万円/補正後額 2,188万円（財源：一般財源 1,033万円）

一畑バス「松江大東線」のバス事業が終了し、実績見込みが示されたため必要な経費の予算措置を行う。(バス事業年度/バス補助金算定期間:R5.10.1~R6.9.30)

一畑バス「松江大東線」は路線維持のため、県及び雲南市、松江市で補助金を交付し運行していたが、運転手不足の背景から9月末をもって路線廃止となった。